

森林教室を開催しました。

H30 年 10 月 4 日（木）

川のせせらぎが聞こえる中滝ふるさと学舎にて、当署職員による森林教室を開催しました。参加者は、鹿角市立大湯小学校 5 年生児童 24 名、教諭 2 名の計 26 名でした。

この森林教室では、鹿角市の身近な自然や、森林が持つ様々な働きについて学んでいただきました。食欲の秋ですので、身近な森林にあるヤマブトウやウワバミソウ（ミズ）などの食べ物を説明している際は、目の輝きがいっそう増していました。

座学後は、「もし、自分の家を建てるならどれくらいの大きさの家で、それを建てるなら何本くらいの木が必要になるのか。」を題材にして実習を行いました。1 本の木からできる木材の量を調べるには、木の直径と自分の背丈の 10 倍以上ある木の高さを調べなければなりません。ふるさと学舎内にはさまざまな樹木が生育していて、大きさも多種多様です。それらを、林業で実際に使っている道具を使って調べてもらいました。最初は、使い方に戸惑っていましたが、数本測ると慣れたようで、協力し合いながら次々と測樹していきました。最後に、職員が測った数値を発表し、一般的な大きさの家には、測った木の中で一番大きな木が何本必要なのかを説明しました。

この森林教室で、児童の皆さんは、森林の役割や木材の大切さなどを学んでいただけたようです。また、木の苗を植えてから伐採するまでの作業など身の周りにある自然や林業に対する興味も出てきたとの感想も聞くことができました。

今後も、米代東部署はこのようなイベントを通じて、森林・林業の指導及び普及に努めてまいります。



1. 開会式



2. 座学の様子



3. 胸高直径の測樹



4. 樹高の測樹